

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 II. 教育研究等の質の向上の状況</p> <p>【原文】 共同利用・共同研究拠点 ○ 国際性習得のための環境整備による若手研究者育成</p> <p>【申立内容】 「共同利用・共同研究拠点」の注目される事項の記述に関して、【修正文案】のとおり再考願いたい。</p> <p>【修正文案】 共同利用・共同研究拠点 ○ <u>新たに開発した強磁場研究環境での共同利用研究の促進</u> 金属材料研究所では、平成27年度に<u>世界最高磁場を有する25テスラ無冷媒超伝導マグネットの独自開発に成功し、スピード感を持って、共同利用に供する準備を進め、平成28年度からその共同利用を開始した。その成果として、強磁場超伝導材料研究センターが担当する共同利用研究課題数は平成27年度より15件も上回る101件となっている。</u> ○ 国際性習得のための環境整備による若手研究者育成</p> <p>【理由】 金属材料研究所の強磁場超伝導材料研究センターは、世界で6か所しかないハイブリッド磁石とユニークな無冷媒超伝導磁石群・超伝導磁石群、強磁場環境下</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 申立て理由に記述された取組を含め、総合的に勘案しているため。</p>

で物質・材料研究を行うための様々な実験装置を備えており、国内外の研究者の共同利用に供している。本センターでは、無冷媒超伝導磁石の開発を世界に先駆けて行ってきており、平成27年度には25テスラ無冷媒超伝導マグネットの独自開発に成功して無冷媒超伝導磁石の世界最高記録を更新し、厳しい国際競争の中で、スピード感を持って共同利用に供する準備を進め、これらの設備を共同利用に供することで、世界最高水準の共同利用研究環境を継続的に提供して、世界最高水準の研究の推進と最先端教育の一翼、更には国内の超伝導産業の振興を担い、我が国の研究力及び産業競争力の向上に多大な貢献をしている。

この取組は、大学の枠を超えて当該分野の学術研究を効果的・効率的に推進するもので、全国的な研究レベルの向上に寄与（中期計画No. 20）し、世界をリードする研究を重点的に推進（中期計画No. 20）するものであり、その寄与度は、共同利用研究課題数の着実な増加に表れている。

以上のことから、平成28年度において、25テスラ無冷媒超伝導マグネットの運用開始とそれによる共同利用研究課題数が中期計画の達成に向けた注目すべき実績であることを明らかにできるよう改めて検討願いたい。